

大里の空から

令和2年5月19日発行

第5号

文責：校長 大河原正道

学校再開に向けて進み出しました

5月11日（月）、14日（木）、15日（金）には、子どもたちが2校時の学習でしたが元気に登校しました。また、5月18日（月）からは給食を食べて4校時まで授業をします。

新型コロナウイルス感染症拡大予防の対策をしっかりとしながら、日常の学校生活ができるように、少しずつ歩みを進めていきます。

臨時休業の間、保護者の皆様には大変なご苦勞やご心配をおかけしました。また、休業中の子どもたちの学習等の対応についてご協力をいただき、本当にありがとうございました。

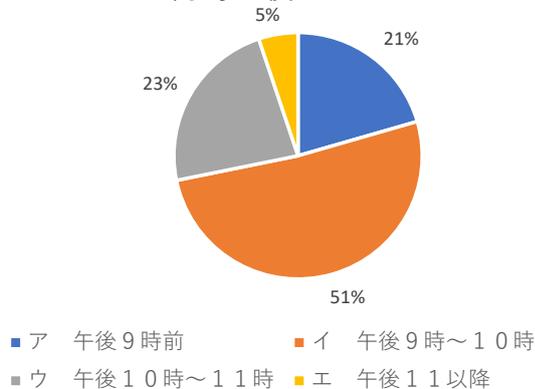


臨時休業中の生活についてアンケートしました

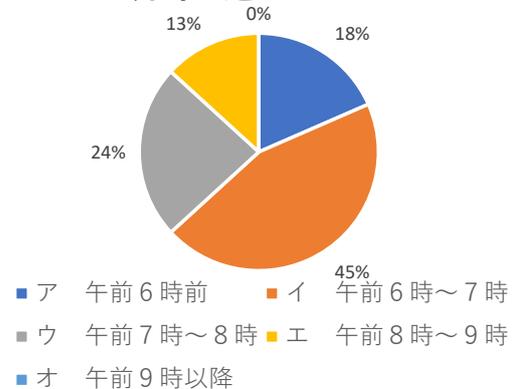
15日に、全児童の休業中の生活についてアンケートをしました。結果をご覧ください。

1 起床・就寝時間について

1 何時に寝ましたか？



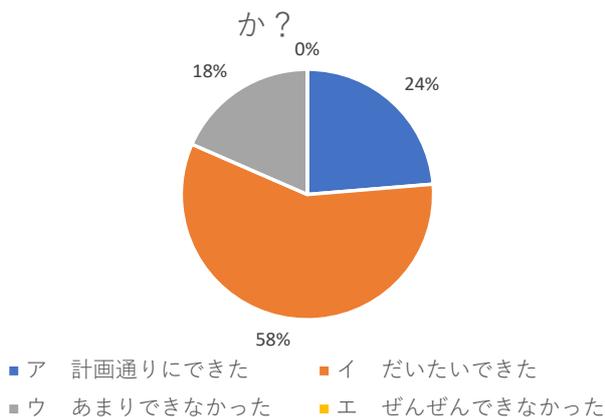
2 何時に起きましたか？



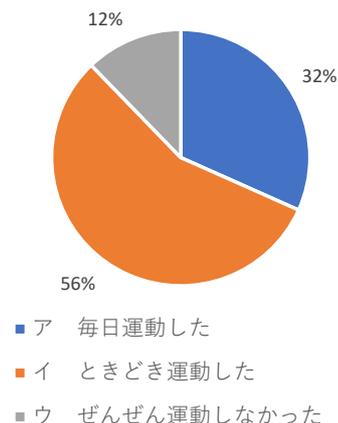
やはり起床時間や就寝時間は通常の生活より違って来たようです。特に高学年は、就寝時間・起床時間が遅くなっていました。学校が再開すればもとの生活時間に戻るかとは思いますが、できるだけ早く元に戻すように学校でも声かけを行いますので、ご家庭での協力も必要かと思ひます。よろしくお願ひいたします。

2 学習及び運動について

3 計画通りに学習ができましたか？



4 運動をしましたか？

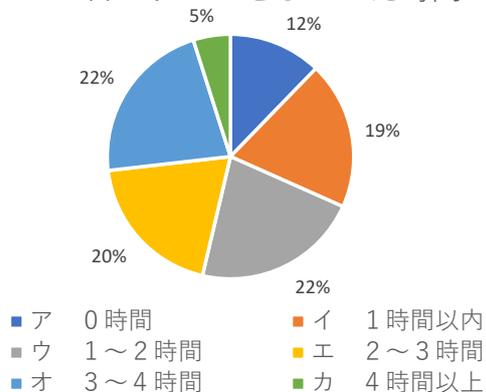


70%～80%の児童が「計画通りにできた」「だいたいできた」と答えていました。提出された課題プリントなどもほとんどの児童がきちんとこなしていたようです。ご家庭でのご協力があったものと考えております。本当にありがとうございます。

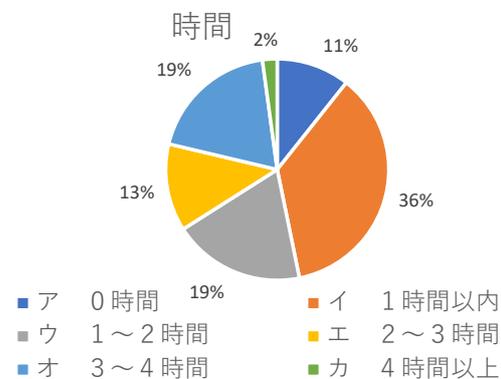
運動面も「毎日運動した」「ときどき運動した」と答えた児童が90%近くありました。運動量そのものはどうかという課題はありますが、概ねよかったかと思えます。

3 メディアの接し方について

5 1日にゲームをしていた時間



6 1日にテレビや動画を見ていた時間

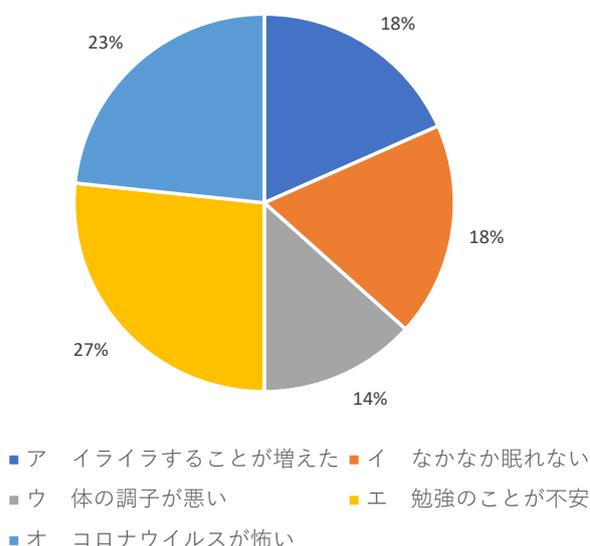


私たちが最も危惧していたのはこのメディアの接し方でした。臨時休業になれば、子どもたちはゲームやテレビ・動画を見ている時間が長くなってしまわないかということです。このアンケートから、およそ50%の児童が1～2時間だけゲームに費やしているととらえるか、25%以上の児童が3時間以上ゲームをしていることを問題視するかに分かれていますが、私は3時間以上のゲームはすこし問題があるように思います。

テレビ等の視聴については、家族の方が見ていれば、それなりに見てしまうことはやむを得ないことと思います。しかしながら、ゲームをすることは、自らの意思が関わってきます。日中に家族の方がいなくて、3時間以上ゲームをしていた児童の中には、ゲームに夢中になりすぎて気がついたら夕方になってしまってるなんてことがあったのではないのでしょうか。タブレットやゲーム機には、使っている時間を記録する機能などがあるようですので、ぜひ、ご家庭でその記録をもとに子どもたちと話し合っ

4 心の中の様子（不安や悩み事）について

7 心の中の様子について



どの項目も同じような割合で不安や悩み事があるようです。アンケートをもとに、不安や悩みのある児童には個別の面談をして、児童に寄り添っていきます。また、必要に応じて保護者に連絡し、問題の解決を目指します。アンケートの自由記述欄に、「家族がイライラしている」と書いた児童もいました。我々大人も不安であり、心配なことが尽きません。こんな時にこそ、大人の対応を子どもたちに見せようではありませんか。

また、「エ 勉強のことが心配」の項目は高学年ほど高いです。現在、休業した総時数は、低学年で60～70時間（およそ12日～14日分）、中学年は70～80時間（およそ14～16日分）、高学年は89時間（およそ16日分）でした。年間の総時数には、ゆとりを持った時数が20～30時間ありますのでそれを考慮すると、本校はおよそ10日分の不足となる予定です。今後どのような形で補完していくかは教育委員会と協議をしていきます。